

シェルとの CCS バリューチェーン構築に関する共同検討の開始について

2023 年 5 月 9 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆）は、Shell Singapore Pte. Ltd（以下、「シェル」）と、国内の工場などの二酸化炭素（以下「CO₂」）排出源から CO₂ を回収し、海外の貯留地に CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）することを目指した CCS バリューチェーン構築に関する共同検討を開始するための契約を締結しました。

当社はシェルと、2022 年 6 月より脱炭素社会実現に向けた幅広い分野における共同検討を開始*¹しており、CO₂ 回収・利用・貯留（CCUS）についても共同検討に向けた協議を進めてきました。

本検討では、CO₂ を排出する工場などに関する大阪ガスのネットワークや知見と、CO₂ 液化輸送や CCS に関するシェルの世界的なネットワークや知見を組み合わせることにより、産業界の脱炭素化に繋がる効率的な CCS バリューチェーン構築の実現可能性を検証します。

具体的には、CO₂ の排出削減に課題を抱える国内の鉄鋼・セメント・化学産業の工場などの CO₂ 排出源から回収した CO₂ を集約・液化した後、アジア太平洋地域の貯留地まで船舶輸送し、地中に圧入・貯留することを想定した CCS バリューチェーン全体の事業性評価を 2023 年 5 月から実施します。

Daigas グループは、今後も脱炭素社会実現に向けて、2021 年 1 月に発表した「カーボンニュートラルビジョン」や 2023 年 3 月に発表した「エネルギートランジション 2030」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

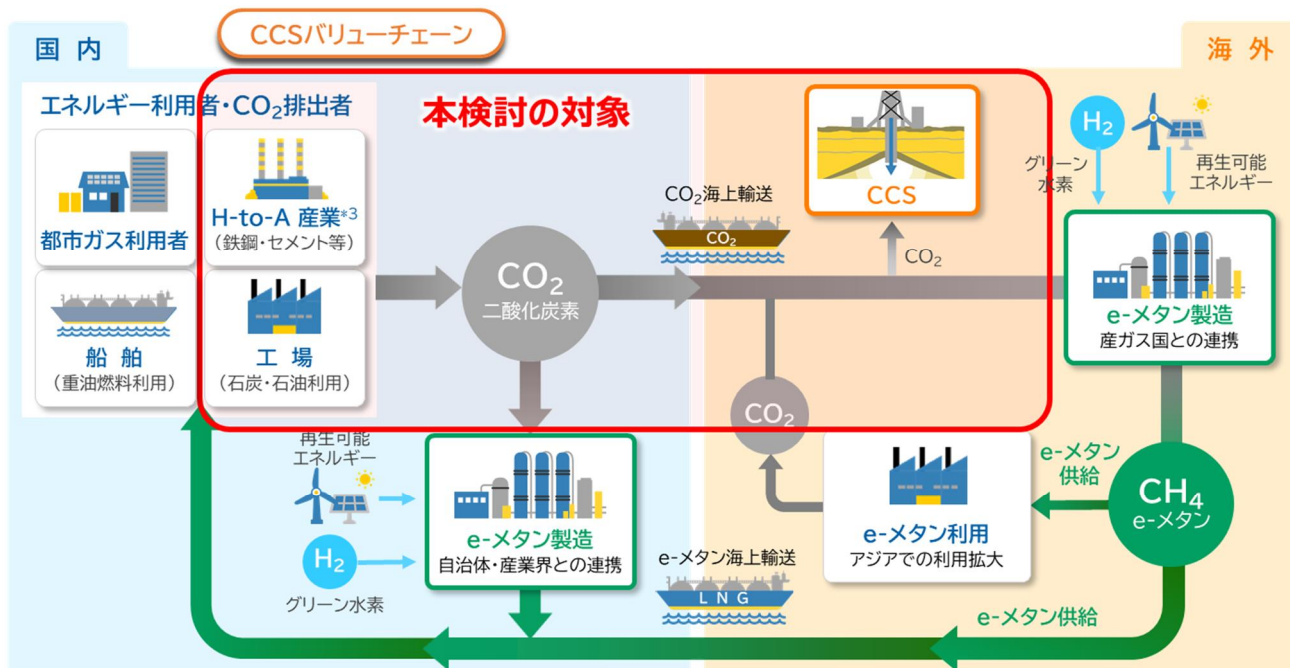
* 1 : 2022 年 6 月 6 日「シェルとの脱炭素社会実現に向けたメタネーション・水素・CCUS など幅広い分野における共同検討の開始」で公表済

Shell Eastern Petroleum (Pte) Ltd と基本合意書を締結した後、同社は Shell Singapore Pte. Ltd に社名変更を行っている

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1307665_49634.html

1. 本事業の概要

- ・「Daigas グループ エネルギートランジション 2030」で新たに示した「CO₂バリューチェーンの構築に関する取り組みのうち、CCSバリューチェーン構築に関する検討。
- ・CO₂の排出削減に課題を抱える国内の鉄鋼・セメント・化学産業の工場などのCO₂排出源から回収したCO₂を集約・液化した後、アジア太平洋地域の貯留地まで船舶輸送し、地中に圧入・貯留することを想定。



*1: CCU = 二酸化炭素の回収・利用 (Carbon dioxide Capture and Utilization)

*2: CCS = 二酸化炭素の回収・貯留 (Carbon dioxide Capture and Storage)

*3: H-to-A産業 = CO₂排出削減に課題を抱える産業 (Hard to Abate)

2. 各社の概要

■ シェル

会社名	Shell Singapore Pte. Ltd (旧 Shell Eastern Petroleum (Pte) Ltd)
本社所在地	シンガポール
設立	1960年8月

以上